

結果の概要

～平成24年12月分～

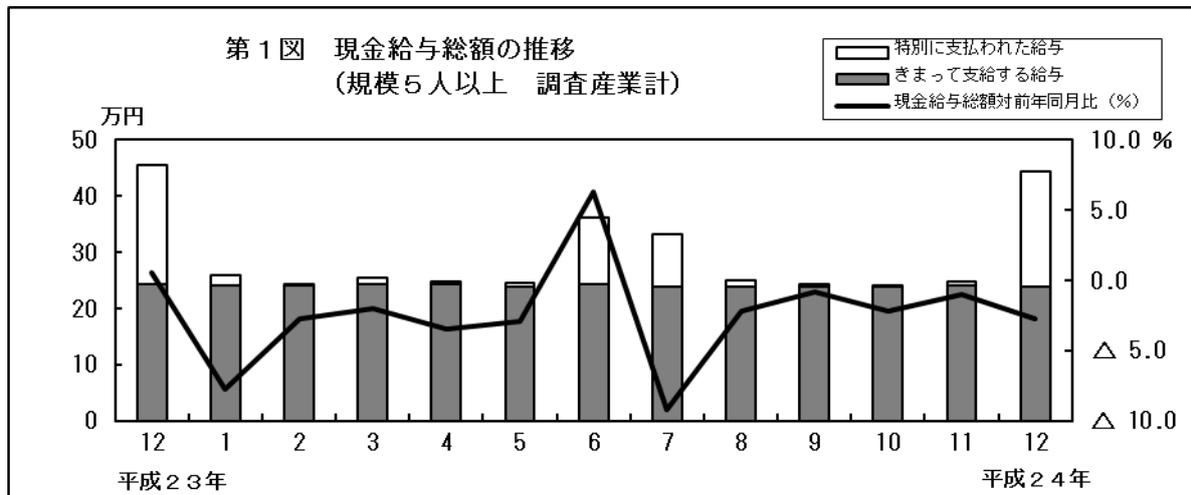
1 賃金の動き

12月分の調査産業計の1人当たりの月間現金給与総額は、443,096円となり、その指数は対前年同月比2.8%減（規模30人以上では、512,099円、1.7%減）となった。（第1図、第1・2表）

また、きまって支給する給与（定期給与）は、237,630円、対前年同月比は2.5%減（規模30人以上では、258,515円、1.3%減）であった。（第1・2表）

きまって支給する給与のうち所定内給与は、220,940円、対前年同月比は2.7%減（規模30人以上では、238,273円、1.5%減）であった。（第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の現金給与総額は、659,324円（規模30人以上では、732,864円）、パートタイム労働者は、108,463円（規模30人以上では、121,019円）であった。（表20・21表）



2 労働時間の動き

12月分の調査産業計の月間総実労働時間は、139.4時間、対前年同月比は2.0%減（規模30人以上では、143.1時間、0.6%減）となった。（第1・2表）

また、所定外労働時間は、10.3時間、対前年同月比は2.7%増（規模30人以上では、12.1時間、9.0%増）であった。（第2図、第1・2表）

製造業の所定外労働時間は、13.8時間、4.0%減（規模30人以上では、13.4時間、8.4%減）であった。（第2図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の総実労働時間は、169.4時間（規模30人以上では、166.8時間）、パートタイム労働者は、92.9時間（規模30人以上では、101.3時間）であった。（表20・21表）

